

令和８年度第１回市民と市長のタウンミーティング実施報告（要録）

日 時：令和８年６月２０日（土曜日）午前１０時３０分～１１時３０分

場 所：大沼公民館

テ ー マ：なし

参加人数：１１人

質疑応答：

【市長】

６月５日号の市報で、犯罪者に狙われないまちづくりの特集をした。保存版としての防犯対策マニュアルも挟み込み、広く市民の皆様に注意を呼びかけた。

一つだけ詐欺の手口をお伝えしたい。警察から「あなたは〇〇の容疑者になっています。」と電話がかかってくることもある。北海道警察とか大阪府警などを名乗って、すぐに来てくださいと言われる。すぐには行けないと答えると、アプリを使って調査をされると言われ、スマホの画面に警察手帳や捜査令状のようなものが表示される。

これは本物の警察ではない。ポイントは２つある。

１つ目、警察は「あなたは容疑者である」と逮捕前に電話で知らせることはない。

２つ目、警察は警察手帳や捜査令状をスマホで見せることはない。

こういったことがあれば詐欺なので、電話を切っていただきたい。

小平市を防災日本一にしようという取組についても紹介させていただく。昨年、災害用トイレトラックを購入し、一般社団法人助けあいジャパンの災害派遣トイレネットワークにも加入した。市外で災害等があったときに小平市のトイレトラックを貸し出すが、逆に小平市で災害等があったときには他の自治体からトイレトラックを貸していただけるというシステムである。

また、市立小・中学校に整備しているマンホールトイレについて、災害時にすぐ使用できるよう、数校で試行的にあらかじめ水を張った状態にしている。蚊の発生も基本的には大丈夫なので、全校に広げていこうと考えている。

防災日本一になるためには、市民一人一人の防災意識を高めることが重要であり、ローリングストックなどの呼びかけもしていきたいので、ぜひご協力をお願いしたい。

【参加者】

市長の７つの約束にある公契約条例の制定について大いに賛同するが、見過ごせない現状がある。市内の社会福祉法人において、賃金未払いが発生している。当該法人に対して、未払い賃金等の労働基準法違反を速やかに是正するよう直接ご指導いただきたい。

また、災害発生時に障がい者が避難する際は、一次避難所へ避難した後に福祉避難所という流れだと思うが、障がいの状態によっては一次避難所を利用しにくい方もいる。荒川区のように発災当初から福祉避難所を開設するようにできないか。

【市長】

個別案件への回答は控えさせていただく。市として指導すべきところは指導するとともに、公契約条例の制定で先行している自治体を参考にして、働く方を守るようにしたい。

障がいのある方がいざというときの不安な気持ちをお持ちだということは理解している。個別の避難計画は少し時間がかかるが、今後進めていく。荒川区の取組も参考にしていきたい。市としても福祉施設と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を結んでいるので、いざというとき安心できる、安全に過ごせる小平市であるために引き続き頑張っていく。

【参加者】

私は精神障がい者だ。

大学教授によるわいせつ被害を減らすため、大学連携をすぐにやめてほしい。

女性が出かける場所がないので、引きこもり女子会を開催してほしい。

国や東京都の補助金を財源にして緊急に精神保健福祉施策を実施してほしい。

【参加者】

萩山公園のプール跡地と小川パレットにボッチャ専用コートを作してほしい。

屋内でも屋外でもいいので、5 m×10mのコートを一面作っていただきたい。

【市長】

萩山公園のプール跡地と小川パレットは設計が終わっているが、汎用性の高い施設を目指しているので、運用でカバーできないか担当に伝える。

【参加者】

データセンターの件で2点ある。

1点目は、東京都が2026年3月31日公表した「まちと調和したデータセンターに向けたガイドライン」の7ページに、ばい煙・悪臭の対策について記載があることである。5月16日に行われた事業者説明会では、非常用発電機用の煙突が38本あり、使用時は匂いも出ると説明があった。住宅密集地なので非常用発電機使用時には明らかに影響があると思われ、近くの保育園や学校では外での活動が制限されるかもしれないと懸念している。データセンターが住宅密集地に建てられることについてどのように考えているのか。住民の健康は守られるのか。市は事業者に対してどのような指導をするのか。

2点目は、データセンターによる火災事故についてである。千葉県印西市では、令和6年2月に火災事故が起きている。千葉県はデータセンター銀座と言われるほど数年前から多くの施設が稼働しているにもかかわらず、事業主との詳細確認ができていなかったため鎮火までに7時間を要した。データセンターの火災についてどのように考えているのか。市として消防署と協議するのか。市から消防署に対して、データセンター建設前に消火方法を検討するよう指導し、その結果を市に報告するように求めるのか。市と消防署との確認事項について、住民に対して説明または開示するのか。

【市長】

データセンターが建設される場所は準工業地域である。市は法律や条例に基づいた指導しかできないが、しっかり指導していくのでご理解をいただきたい。火災については、スタッフを置いて火災時の連絡体制を確保すると事業者から伺っている。また、市は小平消防署や小平警察等も含めた関係機関と密に連携を取っている所以、協議ということではないが情報交換を行い、住民の方々が安心できるような体制にしていきたい。

【参加者】

データセンターは新しい公害とも言われている。

環境と暮らしを考える会の学習会の様子を映した動画を見てほしい。

5月16日に事業者説明会があったが、まだまだ聞きたいことがあるので、10月の着工前ではなく7月とか8月とかに再度説明会を開くよう指示してほしい。
地価が下がり、住民の資産価値が下がるということもある。
クレームを受け付ける窓口を設置してほしい。
小平市はゼロカーボンシティ宣言をしているが、データセンターができると市全体のCO₂排出量を46%増加させてしまうという推計がある。これをどう考えるのか。
秘密保持契約があるのかも合わせて確認させていただきたい。

【市長】

環境と暮らしを考える会の動画があるということなので、拝見させていただく。市としては法律や条例を根拠にしてしかできないことが多く、説明会を開いてほしいという助言はできたとしても開かせる強制力はない。情報開示や責任の明確化などについても市として歯がゆい思いをしているが、市民の皆様が安全・安心に暮らせるまちをつくっていきたいと思っている。
ゼロカーボンシティは市として達成していきたいが、データセンターからの排出量でアップしてしまうので、ゼロカーボンシティ達成は非常に厳しくなってしまったな、というのが率直な感想である。
秘密保持契約については必要があれば、担当に確認する。

【参加者】

私は小川公民館で15年間ほど無料の学習教室を運営しており、生徒は20人、講師は10人いる。公民館や地域センターの開館時間と利用者負担の見直しに反対である。私達の会では、20時から21時過ぎまで開催しているので、現在18時から22時までの利用時間が17時から21時までに変更されると活動が制限されてしまう。
また、全額免除をやめて有料化したら私達は活動できない。
私達市民の意見を尊重していただきたい。

【市長】

無料の学習教室運営は尊重しており、大変ありがたいと思っている。
公民館は22時まで開館する館を3館残すが、稼働率の低い公民館については21時までということにさせていただきたい。地域センターも21時までということにさせていただきたい。
有料化については、減免を今後どうしていくかということである。
いずれも、決定事項ではないので、ご意見を伺いながら進めていく。
50年後100年後も小平市が小平市としてあるために、持続可能な市政運営という観点を持っていく必要もあると思うので、ご理解をお願いしたい。

【参加者】

小平市の玄関は小平駅だと思っているが、駅の南口歩道の凸凹が気になる。次に、トイレの清掃ができておらず、特に男性用小便器の目皿が汚れている。最後に、駅の階段下がゴミ捨て場のようになっている。ただ、花壇はきれいになっており感謝する。
法政大学小金井キャンパス前の歩道がとてもきれいなので、参考にしてほしい。気持ちよくたくさん歩けるので、健康にもいい。

【市長】

歩道の凸凹は把握している。小平駅南口有料自転車駐車場を更新する際にその周辺はきれいになるかもしれない。

トイレの清掃はしているが、尿石が溜まってしまうのが公共トイレの厳しいところである。現在、定期的にトイレの特殊清掃に取り組んでいるが、引き続き快適なトイレの維持管理を行っていく。

駅の階段下は定期的な清掃委託を行っており、ごみがたまらないよう、引き続き適切に管理していく。

【参加者】

市内にある公園に魅力がない。鉄のジャングルジムが錆びたままになっていると人も来ないので、もったいない。最新のきれいな遊具にしたらどうか。

【市長】

年に一か所くらいになるが、大型の遊具を更新している。今後も魅力的な公園作りをしていきたい。

【参加者】

先ほどデータセンターの話が出たが、私も心配がある。外国企業が法整備の整っていない日本の土地を買う例が見受けられる。

今回は住宅のすぐ隣に建つので心配だ。これからも安全・安心に暮らしていきたい。

他市では、市長や市議会議員も市民に寄り添って反対しているところもあるので、条例を作るなど考えていただきたい。

【市長】

市長や議員も反対しているところがあるということは承知した。